

## 【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

## 中瀬中学校のエポックメイキング

校長 香西雅斗

寒さがとても厳しくなり、4年ぶりの大雪も降りました。翌朝の科学与自然の散歩みちは静かで、白銀のアーチをくぐっていると、東京ではない別な世界にいるかのようでした。C. S.ルイスの「ライオンと魔女」で、子どもたちが衣装ダンスを潜り抜け、冬の“ナルニア国”に足を踏み入れた時は、こんな風に感じたのかもかもしれません。

年が改まり、いよいよ中瀬中学校が七十歳の誕生日を迎えます。これまでの歩みを振り返り、今の立ち位置を確認し、未来に思いを巡らせ一歩を踏み出す、それが中瀬中学校の平成30年です。まず今の立ち位置を確認したいと思います。

学習面では、大きく前進した一年でした。先日発行した「校長室より」でお知らせした学校アンケートの「3:授業を受けることで、分かることやできることが増えている。」の生徒肯定率が(H28:75%→H29:81%)となりました。また「4:授業で得意なところを伸ばした…(28%→43%)」

「5:授業でほめたり…(39%→59%)」と教員の授業に対する評価も大きく向上しています。得点力の方も区・都・全国の調査を総合すると、3年生はほぼ東京都の平均、2年生は杉並の平均かやや上、1年生は杉並の平均を上回っているという結果が出ています。

読書についても、4～12月の学校図書館の一人当たりの貸し出し冊数は11.8冊で(平成27年度は5.1冊)大きく伸び、1か月に読む本の冊数も杉並の平均を上回っています。



**得点力も上昇傾向にある中瀬中の次のステージは「学習を教室や授業時間内にとどまらせることなく、自分から疑問をもち、深く学習していく生徒の姿勢を育む。」です。**

学習面だけでなく「1:学校生活に満足(67%→80%)」(保護者も74%→81%)をはじめ「13:問題を見逃さず対応(47%→57%)」「16:安心できる学級づくり(49%→65%)」「18:先生は相談に積極的に応じてくれる(57%→69%)」など、全項目で生徒の肯定率が上昇しました。

**生徒の満足度が上がっている中瀬中の次のステージは「自分達で課題を解決しようとする生徒の自治力を育てる。」「授業や学校生活での一人一人に合わせた配慮の推進。」です。**

また「22:家庭や地域と連携・協力しながら…(47%→66%)」(保護者も63%→74%)と地域に開かれた教育活動の評価も高まりました。実際、9月の杉並在住の39人の留学生との英語を使っての交流では、生徒の英語学習の動機づけになり、授業での英語を使っての即興的やり取りの大切さが明確になるなど大きな効果がありました。

**地域連携の進んでいる中瀬中の次のステージは「地域に生き、地域に貢献する生徒を育てる。」「子どもの生きる力を育む地域の文化に寄与する学校。」です。**

未来を生きる生徒たちに必要な“想像力”“深く考える力”“仲間とともに課題を解決する力”を“地域と共に育てていく”、そんな中瀬中のスタートを、ぜひ応援してください。

# 学校アンケートの自由記述欄(保護者)

保護者の皆様のアンケートは、最初に学校運営委員の方にパソコンに打ち込んで一覧にさせていただきました。まとめていただいた委員の

「厳しい指摘もありますが、ほとんどが好意的な内容と一緒に、バランスの良さを感じます。」

「好意的な内容が多いけれども、そうでない内容も大切にすることが次につながります。」

という言葉を受け、学校運営委員会で目を通して検討しました。

## 【1】評価に関して

わかりやすい評価をお願いしたい。頑張ったのに60点でも90点でも同じ4がついている、観点別でもオールAなのに。(2年)

←

全体保護者会やプリントで説明されているように、Aの目安は達成率が80%以上です。評定では80%以上が4、90%以上で5です。オールAなら4か5、これは本校だけでなく東京都のどの学校でも同じです。またテストの結果だけの評価ではないので、テスト以外の努力が成果を挙げれば60点で4もありえます。

成績のつけ方が先生によって厳しすぎたり、先生の機嫌やその時々生徒によって違っていたりしないか(1年)

←

評価は教員が適当におこなうものではないと思います。まず学習指導要領に基づいた計画に沿って指導し評価します。また、評価項目(例 テスト、実技、ワークシート等)も、年度初めに全家庭にお配りした教科の年間指導計画に書いてあります。

各項目の点については、教科担当にお聞きいただければ示せます。

都内で考えてみた時に妥当な評価を受けているのか、受験の際に、評定が関わってくるため、学校間で不公平が生じてはいないのか、心配です。(2年)

←

都・杉並区とは、成績一覧表で比較できます。データをみると、どの教科も都より杉並の方が高め(評定がいい方に偏っている)です。本校は杉並の平均か少し高めです。

一所懸命やっけていても、ノートや提出物をきちんと管理することができない子と、怠けていて提出物を出さない子が同じ基準で評価されてしまうことに違和感があります。

整理整頓する能力にも個人差があり、成長のスピードがあると思うのですが、現在の成績のつけ方は、そのような能力の成長の度合いが遅い子には、不利であり、今後成長するかもしれない子どもを潰してしまっている気がしてなりません。(2年)

←

怠けているかどうかの判断を外からするのはとても難しいです。大切なのは、苦手なことがあれば、本人から支援を求められるようにすることだと思います。本人からの申し出に対しては、学校や社会は合理的な範囲で対応する義務があります【合理的配慮】。

評価の基準を人によって変えることは望ましくはありません。皆ができるだけ同じスタートラインに立てるよう支援することが大切ではないでしょうか。

また、誰にでも得意不得意があります。得意でない教科の成績はなかなか良くはならないのですが、得意でないことがあることで、ダメな人間だとレッテルを貼られることはあってはならないと考えます。



<下井草図書館 作文コンクール 優秀賞 2年>

## 【2】授業に関して

杉並区内の他校でも英会話のテストは重視されているのでしょうか。杉並区内のどの公立中学校にも同じ教育サービスが受けられなければ不公平です。(2年)

←

学習指導要領には「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞く、話す、読む、書くなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。」と記されています。

←

これまでは「話す」ことのテストが難しかったのですが、大学入試や都立高校入試に取り入れられる方向で進んでいます。また次の指導要領では「話す」ことは「スピーチ」と即興的なやりとり」の2つの項目に分かれます。

←

いずれにせよ中学校でその指導・評価を行うことは、必要だし当たり前のことと言えます。

←

教科学習以外の時間が多すぎると。小中で詰め込み教育をしなければいっするのでしょうか(2年)

←

教科の授業時間は学習指導要領の標準時間を超えるよう計画的に確保しています。学びを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力・人間性等の涵養には、教科外の学習や取組が重要な役割を果たします。



サイエンスグランプリ 審査員奨励賞  
「どのプロペラが一番風が来る？」

授業中のムダ話が多く授業が進まない先生がいるとの声を生徒から聞く。授業に集中させる為の話ならともかく、全く関係ない話をするそうです。(2年)

授業中にスマホチェックしたり、関係ないエピソードの話をししたりして、進度に支障が出ている先生がいる。(2年)

授業に関係のない話が多すぎる先生がいま  
す。改善していただけると嬉しいです。(1年)

←

教員が大切と思ってる話でも、進度に支障が出るなどして信頼を失えば、生徒がしっかり受け止めるはずありません。管理職より指導します。

←

数学の授業を習熟度別にして欲しい。できる子とできない子の差が大きいのに、同じクラスで授業するのはどちらの子も伸ばすことができないのではないのでしょうか。(2年)

←

検討課題の一つです。少人数授業については、メリット・デメリット、クラス数の増加、効果の検証を考察しながら、判断していこうと考えています。



<杉並本の帯 アイデア賞>

←

対話的な授業を増やしてほしい。一方的に教わったり知識を積むだけではなく、クラスでディベートやディスカッションなど多く取り入れて、積極的に学べる場をもっと作ってほしい。少ない参観機会だけでコメントしているのが無責任ではあります。授業に引き付けられない印象を受けました。(3年)

←

次の学習指導要領に向け、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善が始まっています。中瀬中でも、教員同士が授業を見合い、授業を改善しています。生徒の評価は着実に上がっています。さらに努力を積み重ねていきます。

【3】不登校への対応

←

プライベートの問題もあり、個々のケースについて記すのは難しいですが、担任や学年では及ばない所を、カウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどと連携し、本人とつながりをつくってもらうなどしています。その結果、新年になって複数の生徒が登校を再開しました。(ちなみに不登校出現率は杉並平均の半分以下です)

また、区のさきんか教室やフリースクールに通うなどして、家族以外の人と過ごす時間や、相談したり助けてもらえる大人と関われることは、とても大切だと考えています。

担任は定期的に保護者と連絡を取っています。また、クラスメイトについては、やらされ感や重荷にならないよう、また不登校生徒の気持ちを配慮しながら、主体的に働きかけられるようにしています。

←

プライベートの問題もあり、個々のケースについて記すのは難しいですが、担任や学年では及ばない所を、カウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどと連携し、本人とつながりをつくってもらうなどしています。その結果、新年になって複数の生徒が登校を再開しました。(ちなみに不登校出現率は杉並平均の半分以下です)

また、区のさきんか教室やフリースクールに通うなどして、家族以外の人と過ごす時間や、相談したり助けてもらえる大人と関われることは、とても大切だと考えています。

担任は定期的な保護者と連絡を取っています。また、クラスメイトについては、やらされ感や重荷にならないよう、また不登校生徒の気持ちを配慮しながら、主体的に働きかけられるようにしています。



防災標語コンクール  
「防災は 日頃の備えと 意識から」



<杉並本の帯 アイデア賞 審査会特別賞>

【4】給食に関して

給食を残す人が多いと聞いたのでメニューの改善をしてほしい。(2年)  
 給食を残す子供が多いと聞きます。沢山食べさせたい時期に減らしたり食べないようにしたりというのは、良い状況ではないと思います。(1年)

←

給食の様子をみると、カレーやキムチチャーハンや唐揚げの時は完食ですが、魚や野菜の煮物など和食系や、給食以外で食べた経験が無いメニューになると残食が増えます。中瀬中の生徒は、自分の食にあまり気を付けていないという区のデータもあります。体を作り健康を保つ食育が大切です。

味については、ぜひ10月第一週の給食試食会に参加してみてください。参加者の評判はとも良いです。

←

栄養士に調理員の指導をさせるとともに、業者本社には管理職から安全面の徹底を申し入れていきます。  
 しかし、情報の紛失は大きな事故につながるため、契約当事者である区と相談して、委託業者を変えてもらうことも視野にいられています。

←

異物混入が多々ある。給食の業者を変えるべき。(3年)  
 個人情報データを紛失するといった、あってはならない事件が起こった。委託業者のどこからの指導・教育を徹底してほしいです。(3年)



「学校公開」「施設」その他は、次号の校長室よりに掲載します

2月の予定							⑤…スクールカウンセラー出勤日
日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	
				振替休業日(2) 都立推薦発表(3)	専門中央委員会		
4	生徒朝礼 5	⑤ 6	職員会議 7	8	9	10	
東京駅伝		都立出願(3)			修学旅行事前学習発表会⑤⑥(2)	都内私立一般(3)	
11	12	⑤ 13	14	15	16	17	
建国記念の日)	振替休日 都内私立一般(3)	PTA 役員会 新入生保護者説明会 14:00~	杉教研(PM)	和楽器体験(2)		お仕事見本市(1)	
18	朝礼 19	⑤ 20	職員会議 21	22	PTA 運営委員会 23	24	
	学習教室始				学習教室終 都立一次検査(3)		
25	学年末考査 26	学年末考査 27	学年末考査 28	3/1	3/2		
	社・国・保体	数・英・技家	理・美・音	都立発表手続(3)	もちつき大会(3)		
< 3月の予定 > 3/2(金)AM もちつき大会(3)、5(月)PM 雅楽鑑賞(1~3)、7(水) セーフティ教室~薬物乱用防止~⑤ 保護者会(1~3)、14(水) 卒業式予行、15(木) 3年生を送る会、16(金) 卒業式 22(木) 全校美化、23(金) 修了式、							

## 雅楽鑑賞～日本の伝統文化～

今年度のオリンピック・パラリンピック教育の最後の取組は「雅楽鑑賞」です。道徳授業地区公開講座に来ていただいた ケビンさん(スウェーデン)が「雅楽に興味がある」と話されたのを覚えている人もいます。



雅楽は中国、朝鮮半島を経て、日本で花開いた伝統的な音楽の一つです。今回は雅鳳会の本多恵昭会長と8人の方に、3月5日(月)5・6時間目、謡・管弦鼓・舞を、中瀬中の体育館で披露していただきます。近づきましたら改めて案内を出しますので、保護者・地域の皆様もご参観ください。